

コレクション展示

近現代の彫刻 I

令和7年4月26日(土)～6月29日(日) 展示室 1

この展示室では、群馬県立館林美術館のコレクションより、コレクションの核となるフランソワ・ポンポンの作品をはじめ、国内外の近現代彫刻作品を紹介しています。

今回は、フランスで学んだり活躍した作家たちを主にご紹介しています。ウクライナ生まれのオルロフとドイツ人のエルンストはフランスで活躍しました。ムーアはイギリスで活躍しながら、フランスを代表する彫刻家ロダンを尊敬し続けました。

日本人では高田博厚と土谷武がフランスに学んでいます。佐藤忠良は留学はしませんでした。近代フランス彫刻に大いに影響を受け、1981年にはパリのロダン美術館で個展を開催しています。他方、華道草月流の家元でもある勅使河原蒼風の作品は、戦後まもなくパリを席卷した抽象絵画の潮流「アンフォルメル」に影響を与えました。

それぞれのかたちでフランスとの接点を持つ作家たちによる、さまざまな作品をお楽しみください。

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ×幅×奥行）cm				備考	
1	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908 - 1932	銅板	47.0	×	54.4	×	6.0	群馬県立館林美術館
2		ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8	×	23.4	×	10.7	群馬県立館林美術館
3		雌豚	1918	ブロンズ	11.0	×	20.0	×	5.5	群馬県立館林美術館
4		ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2	×	15.8	×	7.0	群馬県立館林美術館
5		雉鳩	1919	ブロンズ	24.0	×	8.7	×	9.5	群馬県立館林美術館
6		バン	1923頃	ブロンズ	26.0	×	29.0	×	12.0	群馬県立館林美術館
7		シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7	×	45.5	×	11.7	群馬県立館林美術館
8		フクロウ	1923	ブロンズ	17.7	×	7.9	×	8.2	群馬県立館林美術館
9		大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0	×	81.0	×	14.0	群馬県立館林美術館
10	シャナ・オルロフ	鳥 1914-1918	1924	ブロンズ	100.5	×	32.2	×	30.0	群馬県立館林美術館
11	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8	×	38.6	×	19.2	群馬県立館林美術館
12	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0	×	35.0	×	5.0	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8	×	24.0	×	11.3	群馬県立館林美術館
14		後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0	×	9.0	×	7.0	群馬県立館林美術館
15	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0	×	122.0	×	112.0	群馬県立館林美術館
16	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0	×	34.0	×	29.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
17	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5	×	20.0	×	23.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
18	勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0	×	53.0	×	48.0	寄託作品
19		クサナギ	1967	銅	252.5	×	64.5	×	50.0	寄託作品
20	土谷 武	無題	1972	軟銅	105.0	×	75.0	×	160.0	群馬県立館林美術館
21		蝶 I	1993	軟銅	147.0	×	130.0	×	160.0	群馬県立館林美術館
22	掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ 四つの足	1985	ブロンズ	100.0	×	96.0	×	30.0	群馬県立館林美術館

* リストの順番は展示順と異なる場合があります。
* 展示作品は都合により変更となることがあります。